

Windows アプリケーション（ファイル名変換ソフト）の作成

名列番号：002 氏名：飴山 剛史

1. 実験目的

Windows アプリケーションを作成することを通して、Windows アプリケーションの原理、そして使い方について理解する。

2. 開発環境

Visual Studio 2005 を使用する。

.NET Framework クラスライブラリを使い、間接的に Windows API を使って作っていく。

3. 実験内容

Windows API と .NET Framework について説明する。

- ・ Windows API とはアプリケーションから OS を操作する手段である。
- ・ .NET Framework とは、簡単に言うと Windows API を間接的に操作できるものであり、あらかじめ言語（クラスライブラリ）を用意しておいて、それを使うことにより API を直接操作するよりも効率的に作業を進めることができる。

4. 作成手順

画面イメージの作成 → 動作イメージの作成 → プログラム作成

5. 結果



6. 使い方

ファイル名設定に変更したい名前を書き、ファイル名変換前のリストボックスの中に、変えたいファイルをドラッグアンドドロップする。すると、リストボックスの中にファイル名変換前のファイルの名前がリストされる。それから、「変換」ボタンをクリックすると、ファイル名がファイル名設定で書いた名前に変更される。

7. 考察

特に不具合もなくしっかりと動作するアプリケーションが出来上がった。目的としていたWindows アプリケーションの原理は理解できたが、使い方についてはまだまだだと思う。これからも勉強していきたい。

